

いいいて希望の里学園レポート

こども園 NEWS までの里のこども園
きらきら笑顔の発表会

11月21日、「までの里のこども園」で発表会が行われました。発表会のテーマは、「みんなが主役 笑顔輝く 発表会」。子ども達は、個性を発揮しながら、劇やダンス、かわいい歌を元気いっぱい発表しました。※感染症対策として、未満児、以上児に分け、2部構成で開催しました。



こども園 NEWS 元気いっぱい 笑顔いっぱい
こども園のハロウィンパレード

10月30日、役場庁舎が笑顔でいっぱいになりました。「までの里のこども園」のハロウィンパレードがやって来たのです。「お菓子をくれないといたずらしちゃうぞ」と大きな声が聞こえたら、あちらからもこちらからも満面の笑顔で職員が登場。思い思いのお菓子をプレゼントしました。「ありがとう」もきちんと言えて、最高にかわいいパレードでした。



イタネちゃんもハロウィンの仮装で子ども達を待っていたよ！

学園 NEWS 5・6年生が村長と米談義
新米を味わう給食



対話がはずみ品種による食味の違いなども話題に

11月9日、5・6年生が、杉岡村長、遠藤教育長と会食し、村で穫れた新米を給食で味わいました。今年は新型コロナウイルスの影響で、前期課程の米作りは見送られました。例年借りていた田んぼで作った新米を、佐藤博さん（二枚橋須萱／写真右）が無償で提供くださいました。新米は「里山のつぶ」という品種で、5・6年生は、甘みやモチモチした食感を味わっていました。また、村の農業について質問し、村長・教育長と対話をしました。



学園 NEWS 税金の役割を学んだよ
租税教室



積極的に質問をしながら税金を楽しく学びました

相馬税務署の職員を講師に、「租税教室」が行われ、6年生が「税金」について学びました。
この教室では、税金の仕組みや、多様な使われ方について、分かりやすく教えていただきました。税金への関心が高まった6年生は、社会科の学習内容や、身近なできごとと結びつけながら、さまざまな質問をして、学びを深めていました。
教室の終わりには、1億円の札束のレプリカを持ち、その重みを実感。同時に、国民が納める税金の大切さも感じ取っていたようです。

学園 NEWS までの里のこども園にて
園児と触れ合う実習

各クラスでの実習の他、はつぴよ会の練習も見学しました



今年は離れた場所からの観察実習

11月16日・17日に、9年生が、「までの里のこども園」で保育実習を行いました。この実習は、家庭科の授業の「環。触れ合いを通して幼児に対する理解や関心を高めるねらいで、毎年行われています。今年は新型コロナウイルスの影響で、直接触れ合うことはできませんでしたが、「楽しそう」「かわいいね」と幼児の様子をしっかりと観察。ワークシートを仕上げていました。

